

## 教育普及に関わる活動報告 Report on Educational Programs

### 1) 常設展関連プログラム

当館の所蔵作品および常設展示に関連して実施されるプログラム。

#### ■Fun with Collection ファン・ウィズ・コレクション

今回の「見る楽しみ・知る喜び——美術史・市場・修復編」(詳細は「展覧会」参照)では、当館の作品をより深く理解することを促すために、美術史、美術市場、作品の保存修復の各分野における知識や情報を提供するプログラムを実施した。

#### 「常設展ツアー」(予約制)

当館のコレクションを、ボランティア・スタッフと一緒に対話しながら見ていく初心者向けのツアー(およそ40分)。

日時・場所:7-8月の平日 9:30-17:30 常設展示室  
対象・参加者:一般の団体(5-30名)/24名(5件)  
参加費:常設展観覧料

#### 〈美術史の視点から〉

##### 「見る、見える、見えてくる——美術史家が作品に向かうとき」

当館のオールドマスター(18世紀以前の画家)の作品を、美術史の研究者の視点から見る体験プログラム。

日時・場所:7月9日(月) 13:30-16:00 常設展示室  
対象・参加者:一般/21名  
講師:高梨光正(当館主任研究員)  
参加費:常設展観覧料

##### 「多面体のモネ——美術史のアプローチ」

モネの作品研究における多様な視点と解釈についてのレクチャー。

日時・場所:7月21日(土) 14:00-15:30 講堂  
対象・参加者:一般/84名  
講師:馬淵明子(日本女子大学教授)  
参加費:無料

##### 「セイビ探偵団が行く! part 2——怪盗ロダヘンに挑戦!」

美術館やロダン作品にまつわる問題を解きながら楽しむミュージアム・オリエンテーリング。

日時・場所:7月24日(火) 13:30-16:30 常設展示室・前庭・講堂  
対象・参加者:小学生/25名  
進行:ゴウヤスノリ(ワークショップ・プランナー)  
参加費:無料

##### 「もっとモネ——人を知って、絵を見る」

作品鑑賞、レクチャー、ゲーム、調査など、さまざまな方法を通してモネとその作品を知るプログラム。

日時・場所:8月14日(火) 11:00-16:00  
常設展示室・会議室・東京国立博物館  
対象・参加者:高校生/11名  
参加費:無料

#### 〈保存修復の視点から〉

##### 「彫刻の修復」

彫刻作品における修復のレクチャーと修復室見学。

日時・場所:8月12日(日) 13:30-15:30 講堂・彫刻修復室  
対象・参加者:中学生以上/24名  
講師:藤原 徹(東北芸術工科大学教授)  
参加費:無料

##### 「絵画の修復」

絵画作品における修復のレクチャーと修復室見学。

日時・場所:8月19日(日) 13:30-15:30 講堂・絵画修復室  
対象・参加者:中学生以上/25名  
講師:河口公男(当館主任研究員)  
参加費:無料

#### 〈市場の視点から〉

##### 「美術品オークションの歴史とその社会的役割及び仕組み」

美術品のオークションの始まりとその仕組みについてのレクチャー。

日時・場所:7月8日(日) 14:00-15:30 講堂  
対象・参加者:一般/84名  
講師:畑中俊彦(クリスティーズ・ジャパン、顧問)  
参加費:無料

##### 「絵を蒐める」

美術作品のコレクター、福富太郎氏が抱く作品への興味とコレクションについてのレクチャー。

日時・場所:7月22日(日) 14:00-15:30 講堂  
対象・参加者:一般/67名  
講師:福富太郎(キャバレー経営者)  
参加費:無料

##### 「コレクションと美術館」

当館のコレクションの核である松方コレクションの規模や特徴、またそれを蒐集した松方幸次郎についてレクチャー。

日時・場所:7月29日(日) 14:00-15:30 講堂  
対象・参加者:一般/104名  
講師:大屋美那(当館主任研究員)  
参加費:無料

##### 「ギャラリー散策」

小山登美夫ギャラリー訪問と小山氏による展示解説とギャラリー運営に関するレクチャー。

日時・場所:8月4日(土) 13:00-16:00 小山登美夫ギャラリー  
対象・参加者:一般/11名  
参加費:交通費

##### 「アートマーケット——その構造と動向」

日本の美術市場の構造と現状についてのレクチャー。

日時・場所:8月15日(日) 14:00-15:30 講堂  
対象・参加者:一般/94名  
講師:瀬木慎一(総合美術研究所所長)  
参加費:無料



#### ■FUN DAY 2007 ファン・デー

ふだん当館にあまり足を運ばない人に来館してもらうために、さまざまなプログラムとともに常設展示室を無料開放する日。

日時・場所：5月12日(土)、13日(日) 9:30 - 17:30 本館・新館全体・前庭

プログラム内容：

1. びじゅつーの貸出
2. ギャラリートーク
3. 建築ツアー
4. 謎ときスタンプラリー
5. ひみつの版画工房～みる・きく・かぐ・さわる～
6. あおぞらコンサート

対象・参加者：一般/5月12日=4,153名、5月13日=4,217名

#### ■上野さくらまつり 記念講演会

日時・場所：4月7日(土) 14:00 - 15:30 講堂

「花と古代ローマ」

青柳正規(当館館長)

対象・参加者：一般/61名

参加費：無料

#### ■障がい者のためのプログラム

「特別鑑賞会」

常設展の作品について、30分程度の概要説明を講堂で行なった後、参加者に自由に鑑賞してもらうプログラム。

日時：4月14日(土) 14:00 - 16:00

参加者：100名

共同実施：三菱商事株式会社・環境室

#### ■クリスマス・プログラム

「クリスマス・キャロル」

クリスマスに教会で歌われる賛美歌などを特集したアカペラのコンサート。

日時：12月18日(火) - 21日(金) 14:00 - 14:40、16:00 - 16:40

12月22日(土)、23日(日) 11:40 - 12:20、15:40 - 16:20

場所：本館1階ロビー(常設展出口付近)

企画：浴ゆかり、奥田もも子、高嶋真希

演奏：山下徳子、渡邊麻子(ソプラノ)、渡辺有夏(アルト)、市川浩平、

小俣貴弘、田中研(テノール)、関口直仁、斎藤 洵(バス)

対象・参加者：一般/1,832名

参加費：無料

「絵でたのしむクリスマス」

聖母子の絵を見て、当館の聖母子を使ったパズルで遊んだ後、

パズルの聖母子の絵を展示室に見に行った。

日時：12月22日(土)、23日(日) 10:00 - 11:30、14:00 - 15:30

場所：講堂・展示室

対象・参加者：6 - 10歳の子供と同伴の大人/82名

参加費：無料

#### 2)特別展関連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

#### ■講演会

時間・場所：14:00 - 15:30 講堂

対象・参加費：一般・無料

[イタリア・ルネサンスの版画展]

4月21日(土) 参加者：76名

「版画家の眼で見たイタリア・ルネサンスの版画」

中林忠良(版画家・東京藝術大学名誉教授)

[バルマ展]

6月16日(土) 参加者：153名

「コレジヨの世界—優美の規範」

甲斐教行(茨城大学准教授)

7月14日(土) 参加者：151名

「ルネサンスの危機とパルミジャーノの芸術」

若桑みどり(千葉大学名誉教授)

7月28日(土) 参加者：136名

「ローマのランフランコ コレジヨの遺産と法悦のヴィジョン」

新保淳乃(千葉大学講師)

8月18日(土) 参加者：132名

「バルマの美術品を巡る過酷な運命」

高梨光正(当館主任研究員)

[ムンク展]

10月6日(土) 参加者：79名

「くいまや労働の時代だ」、ムンク晩年のモニュメンタル・プロジェクト」

ゲルド・ヴォル(オスロ市立ムンク美術館シニア・キュレーター)

11月10日(土) 参加者：98名

「絵の中の劇、劇の中の絵—ムンクとイブセン」

毛利三彌(成城大学教授)

12月8日(土) 参加者：102名

「装飾プロジェクトとしての〈生命のフリーズ〉」

田中正之(武蔵野美術大学准教授)

[ウルビーノのヴィーナス展]

2008年3月4日(土) 参加者：124名

「フィレンツェ美術館特別監督局の歴史」

クリステイーナ・アチディーニ(フィレンツェ美術館特別監督局長官)

2008年3月15日(土) 参加者：144名

「古代美術における横たわる裸婦」

芳賀京子(東北大学准教授)

[祈りの中世展]

7月16日(月・祝) 参加者：145名

「ロマネスク彫刻の世界」  
越 宏一(東京藝術大学教授)

#### ■シンポジウム

[ウルビーノのヴィーナス展]

2008年3月29日(土) 10:00 - 18:00 参加者:141名  
テーマ「ルネサンスのエロティック美術—図像と機能—」

「女性スードをめぐる戦い—ミケランジェロ、レオナルド、ティツィアーノ—」  
ジョナサン・K・ネルソン(シラキューズ大学フィレンツェ校)

「16世紀ヴェネツィア絵画における女性の身体と男性の眼差し—ティツィアーノ、ティントレット、ヴェロネーゼ—」  
アウグスト・ジェンティーリ(ヴェネツィア、カ・フォスカリ大学) [原稿代読による]

「触覚礼賛—コレッジョとマリオ・エクーイコラ—」  
高梨光正(当館主任研究員) [原稿代読による]

「ヴィーナスの変容—スード、バラ、復活と五感—」  
池上英洋(恵泉女学園大学准教授)

「ルネサンス美術の性的イミジャリー—象徴性から卑猥性へ—」  
ベット・タルヴァッキア(コネチカット大学)

「アゴスティーノ・カラッチの好色版画」  
マルツィア・ファイエッティ(ウフィツィ美術館版画素描室長)

「アドニスを引きとめようとするヴィーナス—ティツィアーノ作《ヴィーナスとアドニス》の文学的典拠と祝婚画としての機能—」  
細野喜代(慶應義塾大学大学院)

「ヴェネツィア絵画におけるヤコポ・カラーリオのエロティック版画の反響」  
越川倫明(東京藝術大学准教授)

#### ■ギャラリートーク・スライドトーク

時間・場所:18:00 - 18:40 展示室あるいは講堂  
対象・参加費:一般・無料ただし展覧会観覧券が必要

[イタリア・ルネサンスの版画展]

4月6日(金)、13日(金)、27日(金)  
スライドトーク:小林明子(慶應義塾大学大学院)  
参加者:計95名

[バルマ展]

6月15日(金)、22日(金)、7月6日(金)、20日(金)、8月3日(金)、17日(金)  
スライドトーク:深田麻里亜(東京藝術大学大学院)  
参加者:計584名

[ムンク展]

10月12日(金)、11月9日(金)、30日(金)、12月14日(金)  
スライドトーク:土山亮子(パリ第4大学大学院)  
参加者:計320名

[ウルビーノのヴィーナス展]

2008年3月14日(金)、21日(金)  
スライドトーク:小林明子(慶應義塾大学大学院)  
参加者:計252名

#### ■映画上映

「ムンク愛のレクイエム」

ムンクの日記をもとに、作品に影響を与えた家族、女性との関係などをドキュメンタリー・タッチで描いた作品。

日時・場所:10月20日(土)、12月1日(土) 13:00 - 16:00 講堂  
対象・参加者:一般/10月20日=153名、12月1日=165名  
参加費:無料

#### ■コンサート

「音楽の都バルマ—メルロとヴェルディ」

バルマ出身のトスカニーニと、バルマで活躍し、その肖像であるといわれる作品が本展覧会に出品されているクラウディオ・メルロに焦点を当てた、バルマ展を楽しむためのコンサート。

日時:2007年6月30日(水) 18:00 - 20:00 (17:30開場)

場所:企画展示ロビー (B2F)

企画・トーク:瀧井敬子(東京藝術大学演奏芸術センター助手)

制作アシスタント:酒井千亜希(東京藝術大学)

照明:ハーバーライトカンパニー

演奏:脇田英里子(オルガン)、高橋明日香(リコーダー)、吉武 優(ピアノ)、辻 博之(指揮)、小村朋代、梶田真未、谷垣千沙(ソプラノ)、小野綾香、平井美紀、明石千穂(アルト)、山際隼人、鈴木秀和(テノール)、菅谷公博、杉浦隆大(バス)

対象・参加者:一般/100名

参加費:1,500円

#### ■障がい者のための特別鑑賞会

「コンサートとともに楽しむムンク展特別鑑賞会」

山瀬理桜氏によるノルウェーの楽器、ハルダンゲルヴァイオリンの演奏などのチャリティーコンサートに引き続き、展覧会概要の解説とムンク展の特別鑑賞会を行なった。

日時:2007年11月17日(土) 18:00 - 20:00 (17:30開場)

コンサート 18:00 - 18:30 / 展覧会概要 18:30 - 18:45 /

鑑賞会 18:45 - 20:00

演奏:山瀬理桜(ヴァイオリン、ハルダンゲルヴァイオリン)、城 綾乃(ピアノ)、山瀬クリスティーナ静佳(ハルダンゲルヴァイオリン、歌)

場所(コンサート・展覧会概要):講堂 (B2F)

音響:小林企画

協力:三菱商事株式会社

参加者:163名(うち、鑑賞会のみ参加者40名)

#### 3)ファミリープログラム

ファミリープログラムは、常設展が無料観覧となる各月の第二・第四土曜日に行なわれる。常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつる」の無料貸与と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どようびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

#### ■びじゅつる

美術のことをよく知らない、また美術館が初めてという家族を対象に作られたツールで、常設展にある絵や彫刻を、いろいろな方法で楽しむための道具やゲームなどが盛り込まれている。今年は5種類のツールを貸し出した。

対象:6 - 10歳の子どもと同伴の大人

貸出日:2007年4月14日(土)、28日(土)、5月12日(土)、13日(日)、26日(土)、8月10日(金)、15日(水)、23日(木)、30日(木)

時間:10:00 - 17:00(随時)

利用者:計633名

#### ■どようびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットにな

った申込制プログラム。今年度は、2種類のプログラムを実施した。

「美術館でアニマル・ウォッチング」

絵に描かれたさまざまな動物に着目したプログラム。全員で絵を見た後、手づくりのカードを使って、家族で作品を鑑賞した。最後に、発泡スチロールを組み合わせて、自由に動物を創作した(内容は8回とも同じ)。

対象:6-10歳の子どもと同伴の大人  
日時:2007年7月14日(土)、28日(土)、8月11日(土)、25日(土)

午前=10:30-12:30、午後=14:00-16:00

参加者:計145名

「アートでカルタ」

グループに分かれて当館作品のカルタで遊び、カルタになった作品を展示室に見に行った。その後参加者は展示室で絵を選んで読み札をつくり、最後に自分の書いた読み札を発表した(内容は4回とも同じ)。

対象:6-10歳の子どもと同伴の大人  
日時:2007年3月8日(土)、22日(土)

午前=10:00-11:30、午後=14:00-15:30

参加者:計80名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

2007年度:2,313名(80件)

未就学児童=22名(1件)、家族=4名(1件)、小学生=1,067名(25件)、中学生=737名(28件)、高校生以上=483名(25件)

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、常設展あるいは特別展についての解説を講堂で行なっている(予約制)。実施は教育普及室。

2007年度:1,239名(14件)

小学生=254名(3件)、中学生=853名(7件)、高校生以上=132名(4件)

■職場訪問

修学旅行あるいは総合学習の一環としてグループで来館する生徒を対象に、教育普及室が対応している。

2007年度:84名(14件)

中学生=73名(13件)、高校生以上=11名(1件)

■先生のための鑑賞プログラム

特別展ごとに小・中学校、高校の教員を対象に、展覧会の趣旨やおもな作品について、展覧会担当者が講堂で行なう解説。

[バルマ展]

日時:6月8日(金) 18:00-18:40



講師:高梨光正(当館主任研究員)

参加者:135名

[ムンク展]

日時:10月19日(金) 18:00-18:40

講師:田中正之(武蔵野美術大学准教授)

参加者:145名

■夏期教員研修

武蔵野市小中学校美術研究会/杉並区中学校美術研究会合同研修会

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、参加者それぞれが子どもと一緒に見たい作品を選び発表した。最後に、鑑賞の意味についてディスカッションを行なった。

日時:7月30日(月) 10:00-16:00

参加者:17名

日野市中学校美術研究会研修会

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、グループに分かれて鑑賞の授業案を作成して発表した。最後に、鑑賞の意味についてディスカッションを行なった。

日時:7月31日(火) 10:00-17:00

参加者:15名

東京都図画工作研究会/東京国立近代美術館/国立西洋美術館合同研修会

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、文教区立根津小学校の4・5・6年生に行なったギャラリートークを見学して自らの体験と比較した。その後、見学したトークの感想、鑑賞の意味やあり方についてディスカッションを行なった。

日時:8月27日(月) 9:30-17:00

参加者:55名

## 5) ボランティア

当館では、2004年にボランティア制度を立ち上げ、その年の後半から活動を開始した。17名('07年現在)のボランティア・スタッフは、ファミリープログラムとスクール・ギャラリートークを中心に活動を行っている。また、活動に必要な知識や技術を身につけるため、年間を通じて随時研修にも参加している。

### ■2006年度の活動内容

#### ①ファミリープログラム(ファミリープログラム欄参照)

- ・びじゅつーる：当館にて作成されたファミリー向け鑑賞用教材「びじゅつーる」貸出受付
- ・どようびじゅつ：体験型プログラム「どようびじゅつ」におけるトークおよび創作などの補助と有志による企画

#### ②スクール・ギャラリートーク(学校関連プログラム欄参照)

学校の児童生徒向け対話型トークの実施

#### ③その他

- ・5月12日(土)、13日(日)に行なわれた「FUN DAY」での一般に向けたギャラリートーク、および各種プログラムの補助
- ・12月22日(土)、23日(日)に行なわれた家族向けプログラム「絵で楽しむクリスマス」のプログラム企画・準備・実施
- ・Fun with Collection 2007「セイビ探偵団」のプログラム補助

### ■2007年度の研修

- ①6月7日(木) どようびじゅつ「美術館でアニマル・ウォッチング」トライアル
- ②6月21日(木) 「Fun With Collection」でのトークについて
- ③9月27日(木) これまでの活動の振り返り  
会食
- ④12月13日(木) 東京国立博物館 みどりのライオン 見学  
例会 今後の活動について

⑤2008年2月7日(木) どようびじゅつ「アートでカルタ」トライアル

⑥2008年3月6日(木) 更新、新規募集について

⑦2008年3月27日(木) コレクション概説 村上博哉  
例会

\*ギャラリートークの評価 1回 7月3日(火)

## 6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

### [教育普及室]

インターン：金谷里子、小見ふづき、チョン・ヒョンギョン、花房太一

期間：2007年4月1日～9月30日

指導：寺島洋子、酒井敦子、横山佐紀

内容：①来館者調査

②高齢者プログラムの提案

### [絵画・彫刻・版画素描室]

インターン：小林明子

期間：2007年4月1日～9月30日

指導：渡辺晋輔

内容：展覧会の準備、カタログ編集業務などの補佐(イタリア・ルネサンス展補佐)

インターン：土山亮子

期間：2007年8月23日～2008年1月18日

指導：村上博哉

内容：展覧会の準備、カタログ編集業務などの補佐(ムック展補佐)

### [情報資料室]

インターン：窪内美緒

期間：2007年5月1日～10月31日



指導:川口雅子

内容:研究資料センターにおける資料収集・整理および利用者サービスの補佐

## 7) 他組織との連携

■東京都立飛鳥高等学校・都立大泉桜高等学校課外授業への協力  
日時:6月15日(金)、7月13日(金)、10月12日(金)とFun with Collection  
のプログラム 合計10時間以上  
内容:Fun with Collection参加  
参加者:9名

■上野高校「奉仕」課外授業への協力  
日時:7月11日(水)、12月10日(月)、14日(金)、21日(金)、22日(土)、23  
日(日) 合計24時間  
内容:「絵でたのしむクリスマス」の補助作業  
参加者:5名

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻の教育・研究における連携・協力  
期間:2007年4月1日-2008年3月31日  
内容:文化資源学研究専攻のいっそうの充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

## 8) 出版物

■展覧会カタログ(\*展覧会の欄参照)

■展覧会作品リスト  
展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト。  
[パルマ展] B5(4頁)  
[ムンク展] A4(2頁)  
[ウルビーノのヴィーナス展] A4(2頁)

■ジュニア・パスポート  
展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド。  
[パルマ展] B4変形(二つ折り)  
[ムンク展] 長方形14×55.5 cm(三つ折り)  
[ウルビーノのヴィーナス展] 正十字形29.4×29.4cm(四つ折り)

■ゼフェロス  
当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊(年4回)のニュースレター。  
2007年度:No.31-No.34 A3(三つ折り)

■その他  
上野さくらまつり関連パンフレット  
「春・うえの・桜 花で巡るコレクション」 A4縦半分(4頁)

(寺島洋子・横山佐紀・酒井敦子)

## 1) Programs Related to the Permanent Collection

### ■Fun with Collection

The Fun with Collection program this year was entitled *The Joy of Seeing and Knowing: Art History, the Art Market and Conservation* (See Exhibition report for details).

#### “Collection Galleries’ Tours for Groups” [by reservation only]

Participants explored the museum’s permanent collection galleries with a member of our volunteer staff. (The tour lasted about 40 min.)  
Weekdays in July and August, 9:30 - 17:30, Permanent Collection Gallery  
Target: Group of novice visitors (between 5 - 30 participants)  
Fee: Admission fee to the collection exhibition  
Participants: 24 (5 groups)

#### « History’s Role in the Arts »

“Seeing, Being Seen, Coming to See: When Art Historians Confront an Art Object”  
Experiential program in which the museum’s Old Master works (painters from the 18th century and earlier) were examined from the stance of the art historian.

July 9 (Mon.) 13:30 - 16:00, Permanent Collection Gallery  
Lecturer: Mitumasa Takanashi (Curator, National Museum of Western Art)  
Admission fee to the collection exhibition  
Participants: 21

#### “Multifaceted Monet: The Art Historical Approach”

A lecture about the diverse viewpoints and interpretations used in the study of Monet’s works.  
July 21 (Sat.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall  
Lecturer: Akiko Mabuchi (Professor, Japan Women’s University)  
Admission fee to the collection exhibition  
Participants: 84

#### “The NMWA Kids Detective Company on the Trail, Part 2: Challenging The Puzzle of Rodin”

Museum Orienteering programs where participants enjoyed solving puzzles related to the museum and its Rodin works.  
July 24 (Tue.) 13:30 - 16:30  
Permanent Collection Gallery, Forecourt, Lecture Hall  
Facilitator: Yasunori Gou (Workshop Planner)  
Target: 7 - 12 year-olds  
Free of charge  
Participants: 25

#### “Learning More about Monet: Getting to Know the Person and Seeing his Paintings”

Viewing of paintings, lecture, games, surveys, this program used a variety of approaches to learn about Monet and his works.  
August 14 (Tue.) 11:00 - 16:00  
Permanent Collection Gallery, Meeting Room, Tokyo National Museum  
Target: 16 - 18 year-olds  
Free of charge  
Participants: 11

#### « Conservation’s Role in the Arts »

##### “Sculpture Conservation”

Lecture and conservation studio visit to learn about conservation of sculpture.  
August 12 (Sun.) 13:30 - 15:30, Lecture Hall, Sculpture Conserving Studio  
Lecturer: Toru Fujiwara (Professor, Tohoku University of Art and Design)  
Target: Over 13 year-olds  
Free of charge  
Participants: 24

##### “Painting Conservation”

Lecture and conservation studio visit to learn about conservation of paintings.  
August 19 (Sun.) 13:30 - 15:30, Lecture Hall, Painting Conservation Studio

Lecturer: Kimio Kawaguchi (Conservator, National Museum of Western Art)  
Target: Over 13 year-olds  
Free of charge  
Participants: 25

« The Market's Role in the Arts »

"The History of Art Auctions, their Social Function and Structure"

Lecture on the beginning of art auctions and their organization.

July 8 (Sun.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall

Lecturer: Toshihiko Hatanaka (Vice President, Christie's Japan Ltd.)

Free of charge

Participants: 84

"Collecting Paintings"

Lecture by art collector Taro Fukutomi about his interest in collecting art works and about his collection.

July 22 (Sun.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall

Lecturer: Taro Fukutomi (President, Cabaret Hollywood)

Free of charge

Participants: 67

"Collection and Art Museum"

Lecture about the scope and characteristics of the NMWA's core collection, the Matsukata Collection, and its collector Kojiro Matsukata.

July 29 (Sun.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall

Lecturer: Mina Oya (Curator, National Museum of Western Art)

Free of charge

Participants: 104

"Gallery Stroll"

The group visited the Tomio Koyama Gallery where a lecture was given on the works on display and the gallery operations.

August 4 (Sat.) 13:00 - 16:00, Tomio Koyama Gallery

Lecturer: Tomio Koyama (Director, Tomio Koyama Gallery)

Fee: Travel expenses

Participants: 11

"The Art Market: Its Structure and Trends"

Lecture about the structure and current state of Japan's art market.

August 15 (Sun.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall

Lecturer: Shin'ichi Segi (Director, Sogo Bijutsu Kenkyujo)

Free of charge

Participants: 94

■FUN DAY

A two-day program consisting of a variety of events and free access to the Permanent Collection Galleries held to encourage those who normally do not visit the museum to venture inside for the first time.

Dates: May 12 (Sat.) and 13 (Sun.) 9:30 - 17:30, Permanent Collection Gallery and Forecourt

Programs: a. Biju-tool

b. Gallery talk

c. Architecture tour

d. Puzzling Stamp Rally

e. Mystery Printmaking Studio: Seeing, Hearing, Drawing, Touching

f. Forecourt Concerts

Participants: May 12: 4,153, May 13: 4,217

■Ueno Cherry Blossom Festival

April 7 (Sat.) 14:00 - 15:30, Lecture Hall

"Flowers and Ancient Rome"

Lecturer: Masanori Aoyagi (Director, National Museum of the Western Art)

Free of charge

Participants: 61

■Program for the Disabled

"Special Viewing Session"

After a 30-minute introductory lecture in the Lecture Hall about the works on display in the Permanent Collections Galleries, the participants freely viewed the works in those galleries.

April 14 (Sat.) 14:00 - 16:00

Participants: 100

With Support by: Mitsubishi Corporations, Inc.

■Christmas Program

"Christmas Carols"

From carols sung in churches in the Christmas season to popular songs, this acapella concert featured a range of festive Christmas songs.

December 18 (Tue.) - 21 (Fri.) 14:00 - 14:40 / 16:00 - 16:40

December 22 (Sat.) and 23 (Sun.) 11:40 - 12:20 / 15:40 - 16:20

Main Entrance Lobby

Organizer: Yukari Eki, Momoko Okuda, Maki Takashima

Musicians: Noriko Yamashita, Asako Watanabe (sop.), Yuka Watanabe (alt.), Kohei Ichikawa, Takahiro Omata, Ken Tanaka (ten.), Naohito Sekiguchi, Jun Saito (b.)

Free of charge

Participants: 1,832

"Enjoying Christmas through Paintings"

After playing with jigsaw puzzles of Madonna and Child paintings, families looked at those painting in the permanent galleries.

December 22 (Sat.) and 23 (Sun.) 10:00 - 11:30 / 14:00 - 15:30

Lecture Hall, Permanent Collection Gallery

Free of charge

Participants: 82

2) Programs Related to Special Exhibitions

■Lectures

All 14:00 - 15:30, Lecture Hall, free of charge

A lecture related to the exhibition "Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

"Italian Renaissance Prints as Seen by a Printmaker"

April 21 (Sat.)

Lecturer: Tadayoshi Nakabayashi (Printmaker, Professor Emeritus, Tokyo University of the Arts)

Participants: 76

A series of lectures related to the exhibition "Parma"

"Correggio's World: The Scope of Exquisite Beauty"

Lecturer: Noriyuki Kai (Associate Professor, Ibaraki University)

June 16 (Sat.) Participants: 153

"The Crisis of the Renaissance and the Art of Parmigianino"

Lecturer: Midori Wakakuwa (Professor Emeritus, Chiba University)

July 14 (Sat.) Participants: 151

"Lanfranco in Rome: The Legacy of Correggio and the 'Vision of Religious Ecstasy'"

Lecturer: Yukino Shinbo (Lecturer, Chiba University)

July 28 (Sat.) Participants: 136

"The Cruel Fate of Parma's Art Works"

Lecturer: Mitsumasa Takanashi (Curator, National Museum of Western Art)

August 18 (Sat.) Participants: 132

A series of lectures related to the exhibition "Edvard Munch: the Decorative Projects"

"'Today is the Age of Labor': The monumental projects of Munch's late years"

Lecturer: Gerd Woll (Senior Curator, Munch Museum, Oslo)

October 6 (Sat.) Participants: 79

"The Drama in Paintings, Paintings Amidst Drama: Munch and Ibsen"

Lecturer: Mitsuya Mouri (Professor, Seijo University)

November 10 (Sat.) Participants: 98

"The Frieze of Life as Decorative Projects"

Lecturer: Masayuki Tanaka (Associate Professor, Musashino Art University)

December 8 (Sat.) Participants: 102

Two lectures related to the exhibition  
“Venus of Urbino”

“Florence Museums Association: A Museum at the Crossroads of Tradition and the Future”  
Lecturer: Christina Acidini (Superintendent,  
Florence Museums Association)  
March 4 (Tue.) Participants: 124

“Reclining Nudes in Ancient Art”  
Lecturer: Kyoko Haga (Associate Professor,  
Tohoku University)  
March 15 (Sat.) Participants: 144

A lecture related to the exhibition “Medieval  
Devotion : Photographs of Romanesque Art”

“The World of Romanesque Sculpture”  
Lecturer: Koichi Koshi (Professor,  
Tokyo University of the Arts)  
July 16 (Sat.) Participants: 145

■International Symposium

“Related to the exhibition “Venus of Urbino”

“Erotic Art in the Renaissance: Iconography  
and Function”  
March 29 (Sat.) 10:00 - 18:00  
Participants: 141

“The Battle of the Female Nudes: Michelangelo, Leonardo, and Titian”  
Jonathan K. Nelson (Syracuse University in Florence)

“The Female Body in 16th Century Venetian Painting and the Male Gaze:  
Titian, Tintoretto and Veronese”  
Augusto Gentili (Ca' Foscari University, Venice) [paper read by other  
speaker]

“Tactile Adoration: Correggio and Mario Equicola”  
Mitsumasa Takanashi (Curator, National Museum of Western Art)  
[paper read by other speaker]

“Transformation of Venus: Nudes, Roses, Rebirth and the Five Senses”  
Hidehiro Ikegami (Keisen University)

“Sexual Imagery in Renaissance Art from the Symbolic to the Obscene”  
Bette Talvacchia (University of Connecticut)

“The Erotic Prints of Agostino Carracci”  
Marzia Faietti (Department of Prints and Drawings, Uffizi)

“Venus's Efforts to Attract Adonis: The Literary Models for Titian's Venus  
and Adonis and its Function as a Celebration of Marriage Painting”  
Kiyoko Hosono (Graduate School of Keio University)

“Influence of Giovanni Jacopo Cariglio's Erotic Prints on Venetian  
Painting”  
Michiaki Koshikawa (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

■Slide Talks

Related to the exhibition “Italian Renaissance Prints: from the Swiss  
Federal Institute of Technology Zurich”  
18:00 - 18:40, Lecture Hall, admission free  
April 6 (Fri.), 13 (Fri.), 27 (Fri.)  
Speaker: Akiko Kobayashi (Graduate School of Keio University)  
Total participants: 95

Related to the exhibition “Parma”  
18:00 - 18:40, Lecture Hall, admission free  
June 15 (Fri.), 22 (Fri.), July 6 (Fri.), 20 (Fri.), August 3 (Fri.), 17 (Fri.)  
Speaker: Maria Fukada (Graduate School of Tokyo University  
of the Arts)  
Total participants: 584

Related to the exhibition “Edvard Munch”  
18:00 - 18:40, Lecture Hall, admission free  
October 12 (Fri.), November 9 (Fri.), 30 (Fri.), December 14 (Fri.)



Speaker: Ryoko Tsuchiyama (Graduate School of University of Paris IV)  
Total participants: 320

Related to the exhibition “Venus of Urbino”

18:00 - 18:40, Lecture Hall, admission free  
March 14 (Fri.), 21 (Fri.)  
Speaker: Akiko Kobayashi (Graduate School of Keio University)  
Total participants: 252

■Film

Related to the exhibition “Edvard Munch”

Documentary-style film based on Munch's diaries, reflecting on the  
family members that influenced his works, Munch's relationships with  
women and other themes.

“Edvard Munch”  
13:00 - 16:00, Lecture Hall, admission free  
October 20 (Sat.), December 1 (Sat.)  
Total participants: 318

■Concert

Related to the exhibition “Parma”

“Parma, the Capital of Music: Merlo and Verdi”  
This concert focused on Toscanini (born in Parma) and Claudio Merlo  
(active in Parma). A possible portrait of Merlo was included in the  
exhibition.

June 30 (Wed.) 18:00 - 20:00, Lobby of the Special Exhibition Gallery  
Organizer and Lecturer: Keiko Takii (Tokyo University of the Arts)  
Assistant: Chiaki Sakai (Tokyo University of the Arts))  
Lighting Design: Harbor Light Co.  
Musicians: Eriko Wakita (Organ), Asuka Takahashi (Recorder), Masaru  
Yoshitake (Piano), Hiroyuki Tsuji (Conductor), Tomoyo  
Komura, Mami Kajita, Chisa Tanigaki (Soprano), Ayaka Ono,  
Miki Hirai, Chiho Akashi (Alto), Hayato Yamagiwa,  
Hidekazu Suzuki (Tenor), Kimihiro Sugaya, Takahiro  
Sugiura (Bass)

Tickets: 1,500 yen  
Participants: 100

■Program for the Disabled

Enjoying a Concert Paired with a Special Viewing of the Munch  
Exhibition

Continuing on from the charity concerts held by Rio Yamase and others  
of Norwegian music performed mainly on the Hardanger Fiddle, this  
program included an introduction to the Munch exhibition and a  
special viewing of the exhibition.



November 17 (Sat.) 18:00 - 20:00, Lecture Hall  
Concert: 18:00 - 18:30  
Musicians: Rio Yamase (Violin, Hardanger Fiddle), Ayano Jo (Piano),  
Christina Shizuka Yamase (Hardanger Fiddle and Voice)  
Slide Talk: 18:30 - 18:45  
Viewing: 18:45 - 20:00  
Acoustics: Kobayashi Planning  
With Support by: Mitsubishi Corporations, Inc.  
Total participants: 163 (including those only for the viewing, 40)

### 3) Family Program

The Family Program is a free program held on the 2nd and 4th Saturdays of every month, aimed at children aged 6 - 10 and accompanying adults. Two different programs, "Biju-tool" and "Doyo Bijutsu" (Saturday art workshop), were conducted by members of the Education Department staff and Volunteer Staff members.

#### ■Biju-tool

Biju-tool kit is a viewing aid for novice visitors, specially those families with children aged 6 to 10. It includes tools and games to help them to enjoy art works in the Museum Collection Galleries. Five types of kits were lent to families this year.

April 14 (Sat.), 28 (Sat.), May 12 (Sat.), 13 (Sun.), 26 (Sat.), August 10 (Fri.), 15 (Wed.), 23 (Thurs.), 30 (Thurs.)  
10:00 - 17:00  
Total borrowers: 633

#### ■Doyo Bijutsu (Saturday art workshop)

This program consists of art appreciation in the Museum Collection Galleries and creative activities in the workshop room. Two programs were run during this fiscal year.

#### "Animal Watching at the Museum"

This program focused on a variety of animals depicted in the paintings at the museum. After looking at some art works in a group, families looked at other paintings on their own using a handmade card. At the end, they created their own animals by connecting styrene foams in various sizes (The same program was repeated 8 times.)

July 14 (Sat.), 28 (Sat.), August 11 (Sat.), 25 (Sat.)  
10:30 - 12:30 / 14:00 - 16:00  
Total participants: 145

#### "Let's Play *Karuta* with Art"

After playing a *Karuta* game using our permanent collection, families went to the exhibition room to look for the paintings depicted in the museum's *karuta* cards. The families created some verses which matched the paintings they chose. At the end, they shared their own *karuta* with others by reading out the verses they made (The same program will be repeated a total of 8 times).

March 8 (Sat.), 22 (Sat.) (The rest of the program continued in fiscal 2008.)  
10:00 - 11:30 / 14:00 - 15:30  
Total participants: 80

### 4) School Program

#### ■School Gallery Talk

This program by reservation only involved group tours of the Museum Collection Galleries, led primarily by Volunteer Staff members.

Participants:  
Under age 6: 22 (1 group)  
Family: 4 (1 group)  
Primary School (aged 7 to 12): 1,067 (25 groups)  
Junior High School (aged 13 to 15): 737 (28 groups)  
Over age 16: 483 (25 groups)  
Total: 2,313 (80 groups)

#### ■School Slide Talk

This program requiring reservations involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Museum Collection Galleries or special exhibitions. These talks were

aimed at large-scale audiences and held in the lecture hall.

Participants:  
Primary School (aged 7 to 12): 254 (3 groups)  
Junior High School (aged 13 to 15): 853 (7 groups)  
Over age 16: 132 (4 groups)  
Total: 1,239 (14 groups)

#### ■Museum Visit for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education Staff members guided these groups, and provided information regarding a curator's job, art works, and the art museum itself.

Participants:  
Junior High School (aged 13 to 15): 73 (13 groups)  
Over age 16: 11 (1 group)  
Total: 84 (14 groups)

#### ■Teachers' Program

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers and other educational staff members. The program includes a brief overview of the exhibition's contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition.

#### Related to the exhibition "Parma"

June 8 (Fri.) 18:00 - 18:40, Lecture Hall, free of charge  
Lecturer: Mitsumasa Takanashi (Curator, National Museum of Western Art)  
Participants: 135

#### Related to the exhibition "Edvard Munch"

October 19 (Fri.) 18:00 - 18:40, Lecture Hall, free of charge  
Lecturer: Masayuki Tanaka (Associate Professor, Musashino Art University)  
Participants: 145

#### ■Teachers' Summer Seminars

July 30 (Mon.), 10:00 - 16:00, free of charge  
After each participant closely viewed two art works, they selected which work they would like to view with students and presented a talk on that work. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.  
Organized with Musashino City Study Group of Primary School and Junior High School Teachers of Sugunami Ward  
Participants: 17

July 31 (Tue.) 10:00 - 17:00, free of charge  
After carefully looking at two art works the group then broke into small groups and planned and presented their ideas for school lessons about art appreciation. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.  
Organized with Junior High School Teachers of Hino City  
Participants: 15

August 27 (Mon.) 9:30 - 17:00, free of charge  
After carefully looking at two art works, the participants observed the gallery talks to the fourth, the fifth and the sixth graders of the Nezu Primary School to compare their viewing experiences with those of the pupils. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.  
Organized with Tozuken, the National Museum of Modern Art and Museum of Contemporary Art Tokyo.  
Participants: 55

### 5) Volunteer Activities

A Volunteer Program was established at the NMWA in 2004 and began operating in the latter half of 2004. As of 2006, there were 18 volunteer staff members, and their activities have centered on Family Program and School Gallery Talk events. These volunteers also participate in training sessions held throughout the year in order to acquire the knowledge and techniques necessary for their activities at the museum.

## ■Activities

Family Program (See “(3) Family Program”)

Biju-tool: Loan service of the Biju-tool kits.

Doyo Bijutsu: Art appreciation and studio work. Program planning.

School Gallery Talk (See “(4) School Program”)

## Miscellaneous

Assisted with the Fun with Collection 2007 “NMWA Detectives” program (See “Fun with Collection”)

Assisted with some programs and implementation of gallery talks for adults for “FUN DAY” (May 12 and 13, 2007)

Assisted with creating and implementing the Christmas Program for families

## ■Training and Meetings

June 7 (Thu.) Trial of Doyo Bijutsu program “Animal Watching at the Museum”

June 21 (Thu.) Meeting on gallery talk for “Fun with Collection”

September 27 (Thu.) Review of Doyo Bijutsu program and School Gallery Talk

December 13 (Thu.) Visit to “Midori no Lion” at the Tokyo National Museum

February 7 (Thu.) Regular volunteer meeting on future assignments  
Trial of Doyo Bijutsu program “Let’s Play *Karuta* with Art”

March 6 (Thu.) Meeting for notification of renewal and acceptance of applications by new volunteers

March 27 (Thu.) Lecture on the permanent collection  
Hiroya Murakami (Chief Curator, National Museum of Western Art)

Review of School Gallery Talks: July 3 (Tue.)

## 6) Internships

As part of its mission of developing human resources in areas related to western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum’s activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

### [Education]

Interns: Satoko Kanatani, Fuzuki Komi, Jon Hyongin, Taichi Hanabusa

Term: April 1 - September 30, 2007

Supervisors: Yoko Terashima, Atsuko Sakai, Saki Yokoyama

Training Program: 1. Research on improving senior programs and proposal-making.

2. Assisted with programs related to Fun with Collection 2007, “The Joy of Seeing and Knowing: Art History, Art Market and Conservation.” (See “Fun with Collection”)

### [Curatorial]

Intern: Akiko Kobayashi

Term: April 1 - September 30, 2007

Supervisor: Shinsuke Watanabe

Training Program: Assisted with the preparation of the exhibition “Italian Renaissance Prints.”

Intern: Ryoko Tsuchiyama

Term: August 23, 2007 - January 18, 2008

Supervisor: Hiroya Murakami

Training Program: Assisted with the preparation of the exhibition “Edvard Munch.”

### [Research Library]

Intern: Mio Kubouchi

Term: May 1 - October 31, 2007

Supervisor: Masako Kawaguchi

Training Program: Assisted with assembling resource materials of the museum and library service.

## 7) Cooperation with Other Institutions

Off-campus Course for the Tokyo Metropolitan Asuka and Oizumi Sakura Senior High Schools

Jun 15 (Fri.), July 13 (Fri.), October 12 (Fri.) and some dates from the programs of Fun with Collection.

Attended programs of Fun with Collection.

Participants: 9

Tokyo Metropolitan Ueno High School Volunteer

July 11 (Wed.), December 10 (Mon.), 14 (Fri.), 21 (Fri.), 22 (Sat.), 23 (Sun.)

Helped with the Christmas program.

Participants: 5

Cooperation with Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo

Term: April 1, 2007 - March 31, 2008

This program sought to deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in this program and carry out mutual exchange on research and education.

## 8) Publications

### ■Exhibition Brochures

“Parma”

“Edvard Munch”

“Venus of Urbino”

### ■Junior Passports

Exhibition guide for primary school and junior high school students:

“Parma”

“Edvard Munch”

“Venus of Urbino”

### ■Zephyros

NMWA Newsletter, No.31 - No.34

### ■Other

Related to Ueno Cherry Blossom Festival

“Spring, Ueno, Cherry Blossom: Collection Works Related to Flowers”

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Atsuko Sakai)